

## 「笑顔」

私は夏休みに、ボランティアで竜爪園に行った。竜爪園に行きたいと思った理由は、私の地元の老人ホームであり、小学校や中学校で竜爪園とのつながりがあったからだ。

「積極的に、笑顔で会話をする」という目標を立て、ボランティアの一日目を迎えた。実際にたくさんの人を目の前にすると、緊張して固まってしまう。

施設は和気あいあいとしていて、とても和やかな雰囲気だった。私はお茶を入れるためにテーブルを回った。緊張のあまり、急須を持つ手が震えた。そのとき、

「ありがとうね。」

おばあさんが私を見てにこにこ微笑んでいる。お年寄りの方に積極的に話しかけようと決めたにもかかわらず、なかなか話しかけられない私はその言葉を聞いてほっとし、嬉しい気持ちでいっぱいになった。

その後も、私はおじいさんやおばあさんに何度もお礼の言葉を掛けられた。簡単なお手伝いしかできないけれど、とても喜んでくれている。「ボランティアに参加して本当に良かった。」と思った。「ありがとうね。明日もまた来てね。」と言われ、私はたまらなく嬉しかった。迷惑を掛けてしまったかもしれないけれど、「皆さんを明るく元気にしてあげたい。」という気持ちがしっかりと伝わったのではないかと思う。

私は老人ホームの職員さんはお年寄りの方の介護で体を張り、毎日忙しいというイメージを持っていた。しかし、職員さんは施設での仕事をとても楽しんでいるようだった。

お年寄りと会話をしている職員さんは元気で明るく、ほっこりしてまるで施設の全員が家族のようだった。職員さんは利用者の笑顔と「ありがとう。」の言葉をやりがいに一生懸命働いているのだろう。

地域の学校と老人ホームとの交流をさらに深める。困っているお年寄りを見つけたら声をかける。地域全体で支えることで、少しでもお年寄りの笑顔を増やすことができるのではないだろうか。